

研 究 活 動

(2012年10月～2013年9月)

心理学科

池田豊應

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(15) —臨床心理学士養成課程としての「ヨコ体験グループ」—	共著	2013年3月	愛知学院大学 心理臨床研究 第14号	池田豊應, 鈴木規浩	pp.7-17
2. 信頼と希望	単著	2013年9月	人間性心理学研究 第31巻1号		pp.89-96
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(51) —2012年度ヨコ体験グループのまとめ—	学会 発表	2013年6月	東海心理学会 第62回大会 静岡大学	池田豊應, 堀田貴大, 鈴木規浩, 菅理左香, 石原真行, 吉開彩, 井上丈夫	p.13
2. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(52) —本年度新規参加メンバーに関する検討—	学会 発表	2013年6月	東海心理学会 第62回大会 静岡大学	池田豊應, 近藤果里, 植山愛, 菅吉基, 宮本崇弘, 田沼圭	p.14
3. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(53) —セッションでメンバー同士が関わることの意義—	学会 発表	2013年6月	東海心理学会 第62回大会 静岡大学	池田豊應, 河崎遥香, 桃木徳博, 鈴木友佳子, 細川喬央, 金城孝典, 松本大輝	p.15
4. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(13) —各メンバーの成長をめぐる—	学会 発表	2013年9月	日本人間性心理学会 第32回大会 大正大学	池田豊應, 鈴木規浩, 河崎遥香, 近藤果里, 堀田貴大	pp.80-81
5. 皮膚科における再発例についての心理的考察	学会 発表	2013年9月	日本人間性心理学会 第32回大会 大正大学	森月義雄, 池田豊應	pp.90-91
6. 発達障害が疑われた成人女性の面接過程—「現存在実現の空間モデル」からみたあり方—	学会 発表	2013年9月	日本人間性心理学会 第32回大会 大正大学	桃木徳博, 池田豊應	pp.138-139
7. 比較的短期で終結となった小4女兒との面接過程	シン ポジ ウム	2013年11月	愛知学院大学心理臨床 センター 第14回公開 シンポジウム	石牧良浩(発表者), 池 田豊應(コメンテータ ー)	

岡本真一郎

A (著 書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 言語の社会心理学 —伝えたいことは伝わるのか—	単著	2013年1月	中公新書(中央公論新 社)		pp.1-277
B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. リスク・コミュニケーションの分析 —どのような視点が可能か—	単著	2012年12月	愛知学院大学論叢 心 身科学部紀要第8巻		pp.1-5

2. 関与権限と言語表現 —議論の発展とリスク・コミュニケーションへの応用—	単著	2013年3月	心身科学第8巻		pp.1-6
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 言語行動研究の魅力：心理学にもたらすインパクトについて考える	学会発表 (公募シンポジウム話題提供者)	2013年9月	日本心理学会第77回大会, 札幌	企画代表者 唐沢穰	

金田宗久

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. ニュース記事で描かれる人物像に関する探索的調査	共著	2012年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要, 第8号	金田宗久, 岡本真一郎	pp.37-43
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 情報の提示形式が及ぼす印象形成への影響 - ナラティブ形式とリスト形式による提示 -	学会発表	2012年11月	日本社会心理学会第53回大会, 筑波大学(つくば国際会議場)	金田宗久, 伊藤君男	
2. Impact of narratives on processing information in the media.	学会発表	2013年5月	The 25th Association for Psychological Science Annual Convention, Washington, D.C., USA	Kaneda, M & Ito, K.	
3. メディア報道は何を伝えるか? —外国人に対する態度に及ぼす影響の検討	学会発表	2013年9月	日本心理学会第77回大会, 北海道医療大学(札幌コンベンションセンター/札幌市産業振興センター)	金田宗久, 岡本真一郎	

齋藤 眞

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 子どもとの関係づくり	講師	2013年4月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	
2. スクウィッグル	講師	2013年7月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	

榊原雅人

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 心拍変動バイオフィードバック法の臨床応用—治療的効果と理論的基礎について—	単著	2012年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第8号	榊原雅人	pp.59-72
2. プライミング効果の発達の検討(1)—年少児童におけるプライミング課題の試行—	共著	2012年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第8号	赤嶺亜紀, 伊藤史, 榊原雅人, 木田光郎	pp.73-77
3. 心拍変動バイオフィードバック法	共著	2013年9月	バイオフィードバック研究, 40巻	榊原雅人, 及川欧, Paul Lehrer	pp.41-48

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Development of a self-report measure to assess the effects of relaxation	学会発表	2013年3月	44thAAPB (Association for Applied Psychophysiology and Biofeedback) Annual Meeting (Oregon, USA)	Masahito Sakakibara, Yasutaka Teramoto, Iori Tani	p.12
2. 携帯型心拍変動測定器におけるRR間隔測定精度の評価	学会発表	2013年5月	第31回日本生理心理学会大会(福井大学)	榊原雅人	p.49
3. 心拍変動バイオフィードバック法ワークショップ	ワークショップ共同講師	2013年6月	第41回日本バイオフィードバック学会学術総会(鎌倉女子大学)	Paul Lehrer, 及川欧, 榊原雅人	p.13
4. 心肺系休息機能と心拍変動バイオフィードバック	シンポジウム話題提供	2013年6月	第41回日本バイオフィードバック学会学術総会(鎌倉女子大学)	榊原雅人	p.21
5. 心拍変動バイオフィードバック法	ワークショップ講師	2013年9月	第77回日本心理学会(札幌コンベンションセンター)	榊原雅人	p.TWS(2)

杉下守男

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 学会認定臨床動作法研修会	講師	2012年12月	第8回臨床動作法関西ワークショップ, 京都市	講師成瀬悟策, 鶴光代, 杉下守男, 他	
2. 学会認定臨床動作法研修会	講師	2013年3月	第18回高齢者臨床動作法ワークショップ, 東京都	講師成瀬悟策, 鶴光代, 杉下守男, 他	
3. 臨床動作法による自体軸の気づきに及ぼす効果の実証的研究—思春期における「からだ」を通じた自己理解の可能性—	司会	2013年9月	日本臨床動作学会第21回学術大会, 東京都	発表者須賀川正一, 海老名悠希 司会者 杉下守男	
4. 学会主催臨床動作法研修会	講師	2013年9月	第25回日本臨床動作学会主催研修会, 東京都	講師成瀬悟策, 鶴光代, 杉下守男, 他	

高木浩人

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 制御焦点の先行要因, 関連要因, 結果	共著	2012年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要第8号	三ツ村美沙子, 高木浩人	pp.45-51
2. 学校のメンタルヘルスへの組織心理学的考察	単著	2013年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第5巻		pp.37-44
3. 大学生における職業志向性と制御焦点の関係	共著	2013年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第5巻	三ツ村美沙子, 高木浩人	pp.45-50

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 組織コミットメントと性格特性—大学生を対象とした調査—	学会発表	2012年11月	日本社会心理学会第53回大会, 筑波大学	高木浩人, 石田正浩	
2. 高齢者の仕事と生きがい	講演会	2013年3月	パルテノン多摩連続講演会, パルテノン多摩		
3. 大学生の職業志向性と制御焦点との関連	学会発表	2013年9月	日本心理学会第77回大会, 北海道医療大学	三ツ村美沙子, 高木浩人	

千野直仁

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Hermitian operators, observables, and energy in dynamic asymmetric MDS	学会発表	2013年9月	日本行動計量学会第41回大会抄録集	千野直仁	

八田純子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 青年期のソーシャル・サポート利用について(1)—ストレス対処としての自己開示—	単著	2012年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要 第8号		pp.17-28
2. 地域在住高齢者の転倒自己効力感と身体機能および認知機能との関連	共著	2012年12月	人間環境学研究 第10巻2号	藤原和美, 長谷川幸治, 松田宣子, 岩原昭彦, 伊藤恵美, 永原直子, 八田武俊, 八田純子, 堀田千絵, 前馬理恵, 八田武志	pp.65-70
3. The association of daily activities with motor and cognitive functions in community living older adults	共著	2012年12月	人間環境学研究 第10巻2号	Emi Ito, Priscila Yukari Sewo Sampaio, Takeshi Hatta, Yukiharu Hasegawa, Akihiko Iwahara, Chie Hotta, Naoko Nagahara, Taketoshi Hatta, Junko Hatta, and Nobuyuki Hamajima	pp.91-98
4. 青年期のソーシャル・サポート利用について(2)—原因帰属と自己開示—	単著	2013年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学 第5巻第1号		pp.51-61
5. 日本語版怒り反すう尺度の年代差に関する研究	共著	2013年3月	岐阜医療科学大学紀要 第7号	八田武俊, 八田純子	pp.11-17
6. 日本語版怒り反すう尺度作成の試み	共著	2013年3月	応用心理学研究 第38巻第3号	八田武俊, 大淵憲一, 八田純子	pp.231-238
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 高齢者の高次脳機能と信頼感が騙されやすさに及ぼす影響	学会発表	2013年9月	日本応用心理学会第80回記念大会(東京)	八田武俊, 八田純子	
2. 日本語版怒り反すう尺度の年代差に関する研究	学会発表	2013年9月	日本心理学会第77回大会(札幌)	八田武俊, 八田純子	

3. 中高年齢者の高次脳機能と生活習慣(5)	学会発表	2013年9月	日本心理学会第77回大会(札幌)	岩原昭彦, 永原直子, 伊藤恵美, 堀田千絵, 八田武俊, 八田純子, 八田武志	
4. 高齢者の重心動揺と認知機能の発達について	学会発表	2013年9月	日本心理学会第77回大会(札幌)	八田武志, 八田武俊, 岩原昭彦, 堀田千絵, 八田純子, 伊藤恵美, 永原直子	

牧田 潔

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 職場のいじめ(パワーハラスメント)被害と健康関連 QOL・主観的労働遂行能力との関連性	共著	2012年11月	心的トラウマ研究, 第8号	牧田潔, 山本沙弥香, 高田紗英子, 加藤寛	pp.11-18
2. 職場におけるメンタルヘルス対策の現状と課題—ストレスチェックを中心とした予防対策を通じて—	共著	2012年11月	心的トラウマ研究, 第8号	山本沙弥香, 牧田潔	pp.75-82
3. ロールシャッハ課題遂行時の前頭前野機能について: 近赤外分析法(NIRS)による試行的研究	共著	2013年3月	神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要 6号	相澤直樹, 石橋正浩, 中村有吾, 牧田潔, 内海千種	pp.201-206
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Investigation of Supporting System for DV Patients in Medical Institution in Japan	学会発表	2013年8月	American Psychological Association convention2013, Hawaii	Saeko Fujimori, Kiyoshi Makita, Hiroshi Kato	
2. 惨事ストレス	講師	2012年10月	神戸市消防学校	牧田潔	
3. こころのケア (防災教育ユニット専門教育科目)	講師	2013年1月	兵庫県立大学防災教育センター	牧田潔	
4. こころのケア(ひょうご防災リーダー講座)	講師	2013年2月	笹山市民センター	牧田潔	
5. 傾聴について	講師	2013年3月	兵庫県消防学校	牧田潔	
6. セクハラ・パワハラについて	講師	2013年3月	八尾市消防本部	牧田潔	
7. 惨事ストレス (消防庁・惨事ストレス対策説明会)	講師	2013年7月	愛知県女性総合センター	牧田潔	
8. 障害者虐待防止について	講師	2013年9月	障害者支援施設小原寮	牧田潔	

松岡弥玲

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 看護心理学 第3章 「こころ」の変化 第2節 発達	共著	2013年3月	ナカニシヤ出版	鋤柄増根, 瀬野由衣編	pp.57-89
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 生涯発達の心理学	講演会	2013年7月	可見市広見公民館ゆとりピア	松岡弥玲	
2. 経験から学ぼうとする内省が加齢への肯定感, 自尊感情に与える影響—青年期から老年期までの横断的研究—	学会発表	2013年8月	法政大学市ヶ谷キャンパス	松岡弥玲	

吉川吉美

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. アジア諸国に於ける心理臨床実践の現状と課題	シンポジウム企画	2012年9月	日本心理臨床学会第31回大会	gan chun hong, le quang son, 馬偉軍, 奇恵栄, 海老名悠希, 針塚進	
2. 生きる事と死に逝くことと心のケア	シンポジウム企画	2012年9月	日本心理臨床学会第31回大会	野村幸恵, 内藤いずみ, 長谷川恵三, 田畑治, 生越達美	
3. 臨床動作法を用いたアプローチ	講演	2012年11月	日本臨床催眠学会	吉川吉美	
4. ストレスマネジメント	講師	2012年11月	日本腎不全看護学会	吉川吉美	
5. ストレスマネジメント	講師	2012年11月	東名古屋健康カレッジ	吉川吉美	
6. 臨床動作法	講師	2013年1月	日本システムアプローチ研究所	吉川吉美	
7. 震災支援活動のこれまでとこれからの課題	指定討論	2013年2月	ストレスケア東北ネット	吉川吉美	
8. 臨床動作法	講師	2013年3月	ベトナムダナン師範大学	吉川吉美	
9. ストレスマネジメント	講師	2013年5月	日本心理臨床学会ワークショップ	吉川吉美	
10. 日本で編み出された心理療法と漢方医学を考える	シンポジウム	2013年8月	日本心身医学界近畿地方会	吉川吉美	
11. 事例研究(シンポジウム)	座長	2013年8月	日本心理臨床学会	藤吉晴美, 塚野喜恵	
12. 被害者支援プログラムの開発から実践まで	指定討論	2013年8月	日本心理臨床学会	東北大学大学院支援プログラム開発チーム	